

研究機関：広島大学

研究課題名 人工知能を用いた結膜スミア内の細胞同定

研究責任者名 広島大学大学院医系科学研究科視覚病態学 准教授 近間泰一郎

研究期間 (倫理委員会承認後) ~ 2023年3月31日

対象者

2020年12月から2023年3月31日に、広島大学病院眼科で結膜炎をはじめとする前眼部炎症性疾患による治療を受けられた患者。

意義・目的

結膜炎をはじめとする前眼部炎症性疾患を鑑別するにあたり、結膜スミア（眼脂など）を採取し、その標本内の血球細胞の種類や個数が診断に重要となる。一般的には人間が顕微鏡下で判断するが、習熟に時間を要する。本研究では、人工知能を用いて代替可能かどうかについて検討する。

方法

[Redacted content]